



# やぐら通信

～ひとみキラキラ豊かな心と体の矢倉っ子～

一日のスタートは



から

私の毎日の日課となっていることがいくつかあります。その一つが、校門で子どもを迎え、すぐに校舎内を歩くことです。朝の子どもたちの様子がよくわかります。この時間がとても貴重で楽しいです。4月の始めは1年生から「園長先生おはようございます。」と挨拶され、「あいさつ



がしっかりできましたね。園長先生??小学校では校長先生といいます」と話をするきっかけになりました。何とも言えない微笑ましい心とむ時間です。最近では「校長先生おはようございます。」と小学生になった自覚が芽生えてきたようです。朝の時間、いつものように校舎を歩いていると「おはようございます。」と声をかけてくれました。その時に、「おうちでも挨拶できていますか?」と聞くと「・・・どうだったかな?してないかも・・・」という答えでした。

挨拶があたりまえで、意識してないだけなのか、「おはよう」という朝の挨拶が習慣になっていないのか。皆さんのおうちではどうですか?ぜひ、朝の気持ちいい挨拶から1日をスタートしてください。

何年も前の話になりますが、転勤である中学校に赴任した時、グラウンドから「こんにちは」と大きな声がいくつもいくつも聞こえてきます。陸上部の生徒たちです。活動を止めて私の方を向いて挨拶をしてくれていたのです。廊下ですれ違った生徒からも「こんにちは」と挨拶がありました。この学校の生徒たちは、「知らない人が学校に来た」ではなく、「挨拶してあたり前」の考えでした。なんと気持ちのよい生徒たちでしょう。これからこの学校でこの生徒たちと過ごすことが楽しみになりました。こんな風を感じたのは私だけではなく、日々訪問される方々からも「気持ちの良い挨拶をしてくれますね。」とお褒めの言葉をいただきました。廊下を歩いていると挨拶の音が響いています。この学校では、地域に戻ってもしっかり挨拶をする習慣がありました。最近はコロナの影響で「大声は出しません」とか「人と距離をとって」と人と繋がるきっかけが断たれている気がします。先日も地域の方から、「挨拶してもほとんどあいさつが返ってきませんね。」とお話をいただきました。寂しいことです。

矢倉小学校では「あいさつ」「なかま」「まなび」の3つの大切なこととして子どもたちに話をしています。おうちでも小学校でも地域でも気持ちのよい挨拶が響き渡るといいですね。挨拶は人と人をつなぐきっかけになりますからね。



校長 石井 千鳥

挨拶 : あいさつの挨拶は 〈心をひらく〉 あいさつの挨拶は 〈心をちかづける〉  
だから、「あいさつ」は『心を開いて、相手の心にちかづく』という意味がある。